釘打機 N50

SA-N50-Z1

取 扱 説 明 書

このたびは釘打機をお買い上げ賜り、誠にありがとうございます。ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みください。そして、取扱説明書の内容を十分に理解し、正しく安全にご使用ください。
なお、この取扱説明書はいつでもご覧いただけるところに大切に保管し、必要な時に適切にご利用ください。

目次

警告表示・注意表示について

●それぞれ次のような意味を表します。

⚠警 告	：誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。
⚠注 意	：誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。
注 意	：製品及び付属品の取り扱い等に関する重要なご注意。

本製品は品質および機能向上のため、予告なく仕様の変更を行う場合がございますので予めご了承ください。

ご使用上の注意

●けがや物損などの事故を未然に防ぐために、次に述べる「ご使用上の注意」を必ず守ってください。
●ご使用前に、この「ご使用上の注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
●お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
●他の人に貸し出す場合は、いっしょにこの「取扱説明書」もお渡しください。

⚠ 警告

■ 使用前

●ご使用前に「取扱説明書」を必ずよくお読みください。
本機の取り扱い上の知識が不十分な場合、けがなどの事故の原因になります。

●ご使用の際は保護メガネ・耳栓を装着してください。また、必要に応じてヘルメットなどを装着するなど作業に適した安全な服装や保護具を着用してください。
釘打ち作業をする場合、打ち損じや飛散物が目に入ることを防いだり作業音から耳を守るなど安全のために必要です。また、周りにいる人も必ず安全な服装や保護具を着用してください。

●本機は指定された用途以外にご使用にならないでください。
用途以外でご使用になると、けがなどの事故や故障の原因になります。

●揮発性可燃物（ガソリンやシンナーなど）の近くではご使用にならないでください。
打ち込み時に火花が出る場合があり、火災を起こす恐れがあります。

●本機は圧縮空気専用です。動力源にエアコンプレッサー以外を絶対にご使用にならないでください。
圧縮空気以外のガス（酸素・プロパン・アセチレン等）を使用すると、爆発や火災の恐れがあり、事故の原因になります。

●作業場所を常に整理し明るくしてください。
作業場所がちらかった状態や作業台が乱雑だと思わぬ事故の原因になります。また、作業場所を明るくしてください。

●作業する箇所に、配線や配管などの埋設物がないことを十分に確認して作業を行ってください。
配線や配管に向けて使用した場合、思わぬ事故の原因になります。

●子供や作業者以外の人を近付けないでください。
子供や作業者以外が本機やエアホース・エアコンプレッサーに触れないようにしてください。また、子供や作業者以外が近くにいないことを確認してから作業をしてください。

●本機の分解や改造をしないでください。
本機に刻印や溶接をしたり、分解改造をしないでください。本機の故障や思わぬ事故の原因になります。

●本機を落下させたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
本機に亀裂や破損が起こり、故障の原因になります。

●本機を使用する前に必ず点検してください。
エアホースを接続する前に下記の点検を必ず行ってください。
・ねじの締付けが緩んでいたり抜けていないか。
・各部部品が外れていたり、傷んでいないか。
・その他に異常がないか。
それらがある場合は使用しないでください。そのままご使用になられると事故や破損の原因となります。

●本機でご使用になるエアコンプレッサーやエアホース、エア機器等の取扱説明書をよく読み、正しくご使用ください。
正しく理解しご使用いただかないと思わぬ事故やけが、または本機の故障に原因になります。

●本機が水で濡れていたり、油が付着している状態でご使用にならないでください。
特にグリップには注意し、滑りによる思わぬ事故にならない様にしてください。

●エアホースを接続するときは以下のことを厳守してください。
エアホースを接続するときは誤って作動させないように以下のことを必ずお守りください。
・トリガに指をかけない。
・安全装置や射出口に触れない。
・射出口を人や動物に向けない。

●エアホースを接続時に必ず確認する。
使用前には釘を装填しないでエアホースを本機に接続し下記の確認を必ず行ってください。
・エアホースを接続しただけで作動音がしないか。
・エア漏れや異常音がしないか。
エアホースを接続しただけで作動したり、エア漏れや異常音がする場合は故障しています。そのままお使いになると思わぬ事故の原因となりますので、絶対にご使用にならないでください。

●指定された釘をご使用ください。
指定された釘と異なるものを使用すると本機の故障や事故の原因となりますので、必ず指定の釘をご使用ください。

●本機に安全装置が装備されている場合は安全装置が完全に作動するか使用前に必ず点検する。正常に作動しない場合は使用しないでください。
使用前には必ず安全装置が完全に作動するか確認してください。釘を装填しないでエアホースを接続し、トリガを引いて確認してください。
※以下の場合には安全装置が故障しています。本機の使用をやめ、修理に出してください。
・トリガを引いただけで、作動音がする。
・射出口を対象物にあてただけで作動音がする。

■ 使用中

●使用空気圧を必ず守ってください。
本機の使用空気圧を超えた圧力で使用すると本機の寿命を早めたり、故障の原因になります。また、それによる破損や損傷でけがなどの思わぬ事故の原因となります。使用空気圧の設定は本機の使用空気圧範囲内で、対象物や打ち込み深さなどを考慮して設定してください。

●射出口を人体や動物に向けないでください。
誤って発射した場合に思わぬけがや事故の原因になります。また、射出口付近に手足等を近付けての作業は危険ですのでおやめください。

●発射するとき以外はトリガに指をかけないで下さい。
誤って発射した場合には思いがけない事故につながります。安全装置が装備されている機種でも十分に注意してください。

●トリガに指をかけたまま人に手渡したり置いたりしないでください。
誤って発射された場合は思わぬ事故やけがの原因になります。

●釘を打ち込む時以外は、トリガに指をかけないでください。
釘の装填や点検・調整などをするときはトリガに指をかけないでください。誤射による思わぬけがや事故の原因となります。

●トリガに指をかけた状態でエアホースの脱着をしないでください。
脱着時の反動による誤射で思わぬけがや事故の原因となります。また、トリガを引いたままエアホースを分離しないでください。接続時に釘が発射される場合があり、思わぬ事故やけがの原因になります。

●釘を打つ時は射出口を確実に対象物に当ててください。
射出口を確実に対象物に当てていないと反動で手元が狂うことで思わぬ事故やけがの原因になります。また、打ち込まれた釘の上から射出しないでください。釘の反発や本機の反動で思わぬ事故やけがの原因になります。

●作業中は本機に顔などを近付けないでください。
本機の反動や飛散物でけがの原因になります。

●使用中に本機に異常を感じたら作業を中止し、絶対に使用しないでください。
使用中にエア漏れや異常な音、作動不具合、誤作動など異常がみられたままご使用になられると思わぬ事故やけがの原因になります。

●本機を誤って落としたり、ぶつけたりしたときは、本機に破損や亀裂、変形などの異常がないことを確認してからご使用ください。
異常がみられたままご使用になられると思わぬ事故やけがの原因になります。

●壁や対象物の両側から向かい合わせで作業をしないでください。
向かい合って作業をすると、打ち損じや貫通した釘が作業者にあたり、思わぬ事故やけがの原因になります。

●無理な姿勢で作業をしないでください。
常に足元を安定させて、しっかりと踏ん張って作業してください。バランスが悪いと転倒などで思わぬ事故やけがの原因になります。

●**高所で作業する場合は以下のことに注意してください。**

・エアホースは作業場所に固定するなど十分に確保してください。不意に引っ張られて転倒や落下の恐れがございます。
・十分に足場を確保し、安定した姿勢で作業してください。
・屋根などの斜面で作業する場合は下から上に向かって前進で作業をしてください。

●**水平面を打つ場合は前進姿勢で作業を行ってください。**
安全に作業ができ、正確で早い作業ができます。後退しながらの作業は足を取られるなど危険です。

●**垂直面を打つ場合は上から下に打ち込んでください。**
本機を手に届く最も高いところまで差し上げ、上から下へ打ち込み作業をしてください。疲労が少なく、安全に作業がしやすいです。

●**エアコンプレッサー・エアホース・本機を直射日光のあたる場所で長時間使用したり、放置しないでください。**
温度上昇による本体の不具合や空気圧の上昇で故障や思わぬ事故やけがの原因になります。

■ 使用後

●**トリガから指を離し、本機とホースの接続を分離してください。**
誤って発射された場合は思わぬ事故やけがの原因になります。

●**マガジン内に残った釘を取出して保管してください。**
誤って発射された場合は思わぬ事故やけがの原因になります。

●**本体内部に貯まったドレン（水分）を空気取入口から抜いてください。**
空気取入口を下に向けて数回振ってください。

●**空気取入口から付属のオイルを数滴入れ、再度ホースを接続して1～2回空打ちをしてください。**
内部の水分や汚れを付きにくくし、寿命を延ばします。

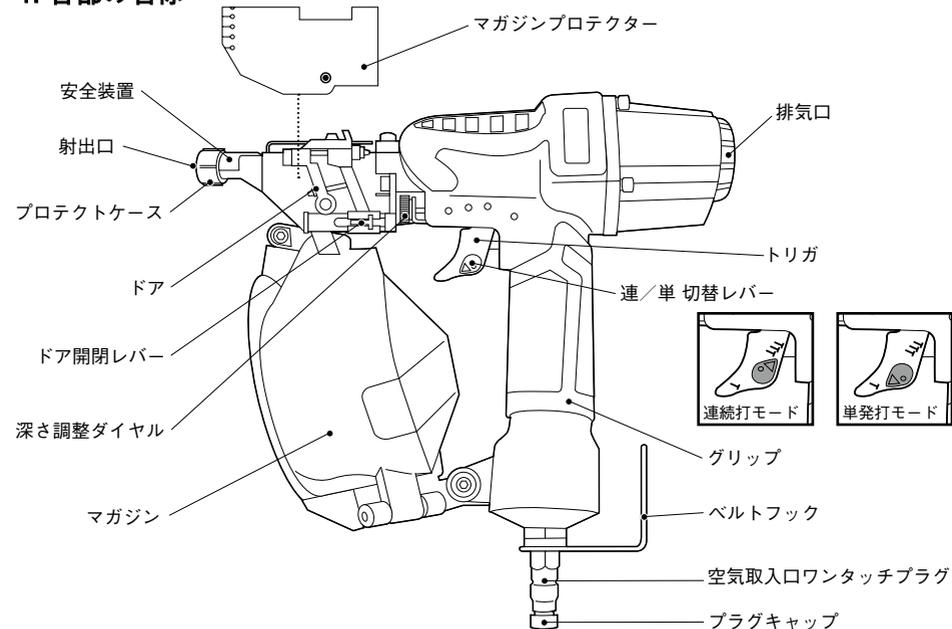
●**本機の汚れをダスターで吹き飛ばしたり、乾いた布で拭いてください。**
本機の寿命を長く保ちます。

■ その他注意事項

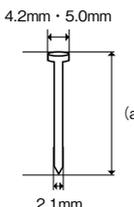
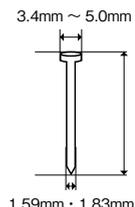
●**付属のオイル以外をご使用になる場合は市販のエアツールオイルまたはエアネイラー・エアタッカー用オイルをご使用ください。**（タービン油　ISO VG32）

●**使用後の保管は空気取入口のプラグにキャップをし、ブローケースに入れて保管してください。**
直射日光や高温多湿を避け、清潔な場所で保管してください。

●**配管中に市販のフィルターなどのエア機器を使用する場合はエア機器の取扱説明書をよく読み正しくご使用ください。**
使用用途に合わせ正しくご使用いただかないと寿命を短くしたり、故障の原因になります。

1. 各部の名称

●本体仕様

商品名	SK11 釘打機 N50
品番	SA-N50-Z1
本体サイズ	L 295mm × W 112mm × H 265mm
質量	1.63kg
釘装填本数	200 本・400 本
使用空気圧範囲	0.5 ～ 0.8MPa
付属品	取扱説明書・安全グラス・4mm 六角棒レンチ・ネイラーオイル・ケース・プロテクトケース３個
使用オイル	タービンオイル ISO VG32

釘種類	ワイヤ連結	プラシート連結
釘寸法	4.2mm・5.0mm (a) 2.1mm	3.4mm ～ 5.0mm (a) 1.59mm・1.83mm
釘全長 (a)	32 ～ 50mm	25 ～ 50mm

2.安全作業について

本機は釘を打ち込むためのエア工具です。木材や樹脂等の材料などにご使用ください。それ以外の用途でご使用になられますと重大な事故につながる恐れがあります。

3. 安全装置について

本機は釘を打ち込む作業で安全を確保するために安全装置が付いています。

⚠ 警告
安全装置が完全に作動するか使用前に必ず点検する。正常に作動しない場合は使用しないでください。

安全装置
対象物に射出口を押しあて、安全装置が引っ込んだ状態でトリガを引くか、トリガを引いた状態で対象物に射出口を押しあて安全装置が引っ込むと釘が射出されます。

安全装置の確認
①トリガにある連／単切替レバーを単発打モードにします。（図－1）

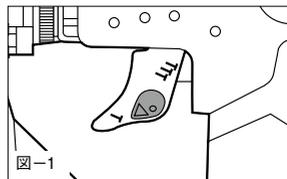
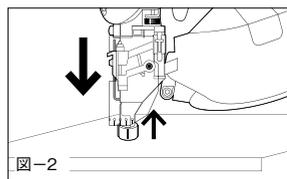
図－1

②釘が装填されていない状態でエアーホースを接続します。

⚠ 警告
エアホースを接続する前に釘が装填されていないことを必ず確認して下さい。

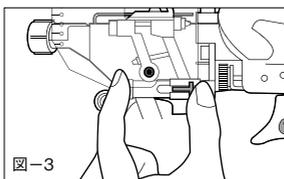
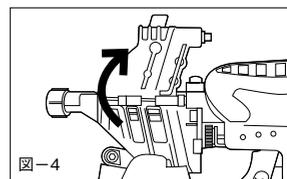
③トリガを引かない状態で捨て木に射出口を当て安全装置を可動させます。このとき異常な音や作業音がしないか確認してください。（図－2）

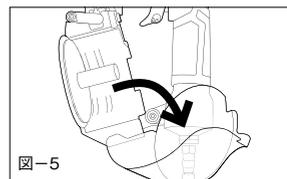
図－2

④次にトリガを引いた状態で捨て木に射出口を当て安全装置を可動させます。このときも異常な音や作業音がしないか確認してください。

4. 使用方法

⚠ 警告
本機の使用方法はエアホースを接続せずに確認してからご使用ください。使い方を誤ると思わぬ事故やけがの原因になります。

●釘の装填方法

①ドア開放レバーをつまみ（図－3）、ドアを手前に開けます。（図－4）

図－3

図－4

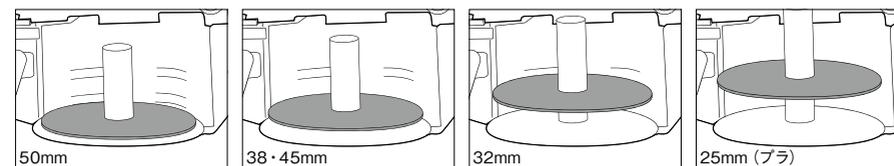
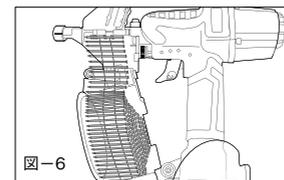
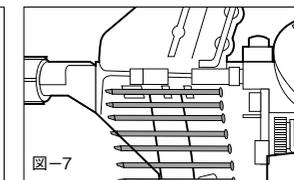
②マガジンカバーを右手前に引き開けます。（図－5）

図－5

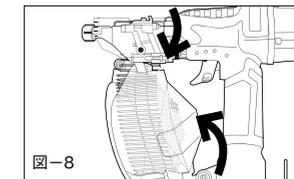
③使用する釘の長さに合わせて補助台の高さを合わせてください。

50mm

38・45mm

32mm

25mm（プラ）

④釘をマガジンにセットし（図－6）、ネイルを引き出し、図－7のようにセットします。

図－6

図－7

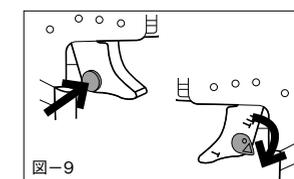
⑤マガジンカバーを下し、ドアをカチッと音がするまで押して完全に閉じます。（図－8）

図－8

●打ち方

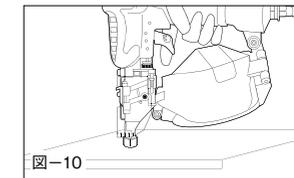
⚠ 警告
釘を打ち込む時以外は、トリガに指をかけないでください。誤射による思わぬけがや事故の原因となります。

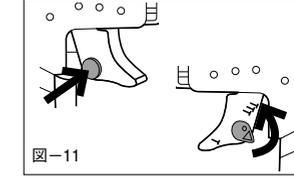
⚠ 警告
射出口を人体や動物に向けないでください。誤って発射した場合に思わぬけがや事故の原因になります。 また、射出口付近に手足等を近付けての作業は危険ですのでおやめください。

⑥エアホースを空気取入口ワンタッチプラグに接続します。

単発打の場合
⑦トリガの赤い丸の方を押してレバーを単発打側にします。（図－9）

図－9

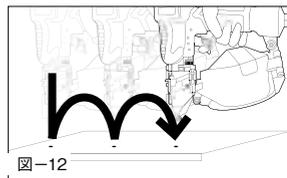
⑧エアホースを接続します。

⑨グリップをしっかりにぎり射出口を釘を打ち込む箇所にしっかり当てます。
⑩トリガを引くと釘が射出されます。（図－10）

図－10

連続打の場合
⑦トリガの赤い丸の方を押してレバーを連続打側にします。（図－11）
⑧エアホースを接続します。
⑨グリップをしっかりにぎりトリガを引きます。

図－11

⑩射出口を打ち込む箇所にたたきつけると釘が射出されます。

⑪トリガを引いたまま、くりかえし釘を射出することが出来ます。（図ー12）

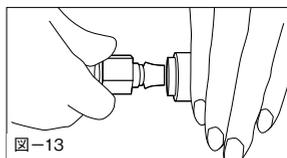
図ー12

※プラシート連結釘を打ち終わった後の連結帯は斜め下（グリップ方向）に引きちぎって下さい。

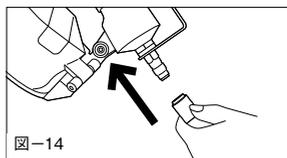
5. エアホースの接続について

⚠ 警告
エアホースを接続するときは誤って作動させないように以下のことを必ずお守りください。 ・トリガに指をかけない。　・安全装置や射出口に触れない。　・射出口を人や動物に向けない。

●ワンタッチソケットとプラグの接続

①エアホースの接続は、エアコンプレッサーとホースのプラグを接続します。接続はエアコンプレッサーとホースをしっかり持ち、まっすぐに押し込んでください。カチッと音がしたら接続完了です。（図ー13）

図ー13

②次にホースのソケットと本機のプラグを接続します。接続時はトリガに指をかけずにしっかり持ち、ホース側のソケットをまっすぐに押しあててください。カチッと音がしたら接続完了です。（図ー14）

図ー14

6. 釘の打ち込み

⚠ 警告
本機は使用圧力範囲内0.5〜0.8MPaでご使用ください。また、最高使用圧力0.8MPaを超えた圧力で絶対に使用しないでください。

①釘の打ち込み深さは打ち込みをする材料の固さや釘の種類・サイズ、ホースの長さなどで大きく変化します。深さの調整は本機の深さ調整と使用空気圧で調整してください。

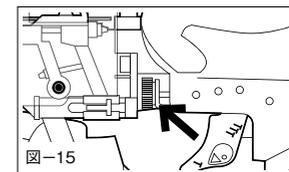
適正です
そのままご使用ください。

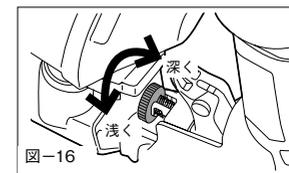
浮き過ぎ
本機深さ調整ダイヤルまたは使用空気圧を上げてください。

沈み過ぎ
本機深さ調整ダイヤルまたは使用空気圧を下げてください。

●本機の深さ調整について

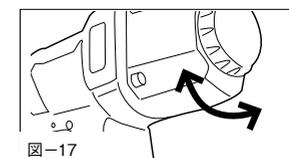
①図ー15の矢印の深さ調整ダイヤルで深さを調整する。

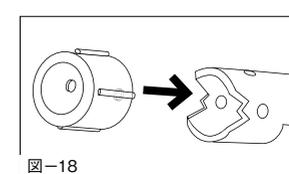
図ー15

②図ー16で手前に回せば浅く、奥に回せば深く、打ち込み深さを変えることが出来ます。

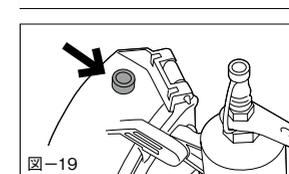
図ー16

7. 排気について

⚠ 警告
本機の排気は汚れた水分・油分やほこりを含んでいます。直接、人や動物に向けてご使用にならないでください。

①排気口は360度回転します。邪魔にならない方向に向けてください。（図ー17）

図ー17

8. プロテクトケースについて

①本機には射出口に樹脂製のカバーが付いています。（図ー18）
対象物を傷が付きにくくするものです。お買い上げ時は取り付けられている状態です。そのまま、ご使用ください。

②摩耗などで取り換えるときや不意に脱落したときは図ー18のようにプロテクトケースのライン（突起）とノーズの穴が合うように押し込んでください。

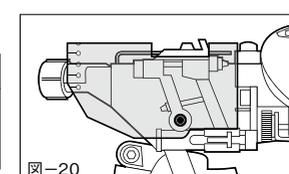
図ー18

※プロテクトケースをご使用にならないときはプロテクトケースホルダーに収納できます。（図ー19）

図ー19

9. マガジンプロテクターについて

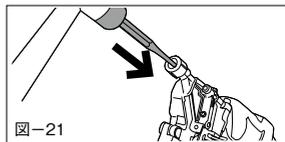
本機には防塵のためにマガジンプロテクターが装着されています。（図ー20）

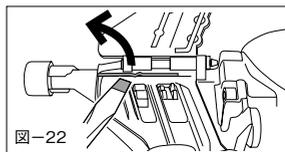
⚠ 警告
使用前にマガジンプロテクターがしっかりと固定されているかご確認ください。使用中に不意に脱落すると思わぬ事故やけがの原因になります。

図ー20

10. 釘詰まりの直しかた

⚠警告
使用中に釘が詰まったら、すぐにホースを分離してください。誤射による思わぬ事故やけがの原因になります。

⚠注意
使用中に釘が詰まったら、無理に打ち続けないでください。本機の故障や思わぬ事故の原因になります。

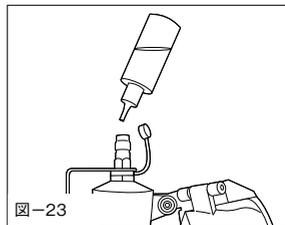
釘が詰まったら
①エアホースを分離してください。
②マガジンの釘を取り出してください。
③ドアを開けたまま射出口を上に向け、ピンポンチ等で射出口側からたたきます。（図−21）

図−21

④詰まっている釘をドア側からマイナスドライバー等で取り除いてください。（図−22）

図−22

11. オイルについて

本機は使用前と使用後または打ち込み1000本に一回程度、注油をしてください。注油をおこたると故障や異常摩耗の原因になります。

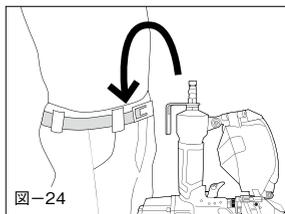
●注油方法

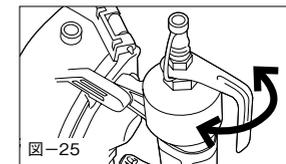
①本機とエアホースを分離してください。
②釘がマガジンに入っていることを確認してください。
③空気取入口のワンタッチプラグを上に向けそこから1〜２滴注入してください。（図−23）
④注入後、釘が入ってる状態でエアホースを接続し２〜３回捨て打ちをしてください。

図−23

⚠注意
注油の量が多かったり頻繁に注油しすぎると空気排気口からオイルが噴き出す場合がございます。

⚠注意
排気口からは本機のシリンダー内の汚れや水分・油分が出ます。噴き出す場合はウエス等で押さえて数回捨て打ちをしてください。

12. ベルトフックについて

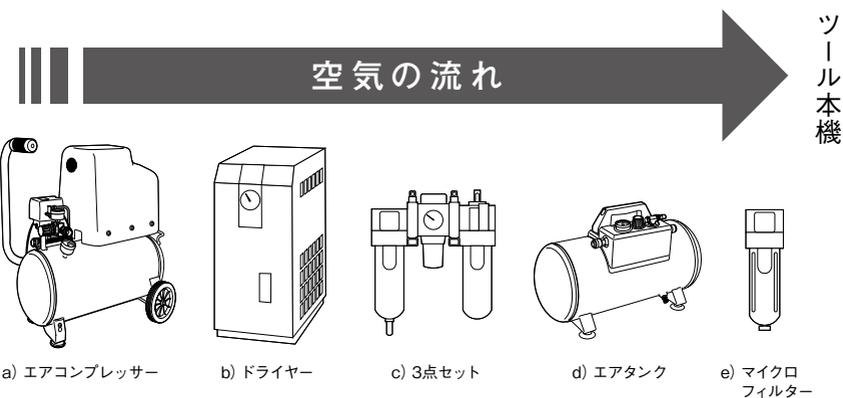
ベルトフックはご着用の作業ベルトやツールフックに引っかけてご使用いただけます。（図−24）
ベルトフックをご使用になられる場合は必ず本機とエアホースを分離してください。

図−24

また、360度回転でき、右利きでも左利きでもご使用いただけます。（図−25）

図−25

⚠警告
高所作業ではご使用にならないでください。万が一、落下した場合、思わぬ事故の原因になります。

⚠警告
不意にフックがベルトやツールフックから外れる場合があります。移動等の際は出来るだけ手で持ってください。万が一、落下した場合、思わぬ事故の原因になります。

⚠警告
ベルトフックをご使用になるときは本機とエアホースは絶対に分離してください。分離せずにご使用になると誤射による思わぬ事故の原因になります。

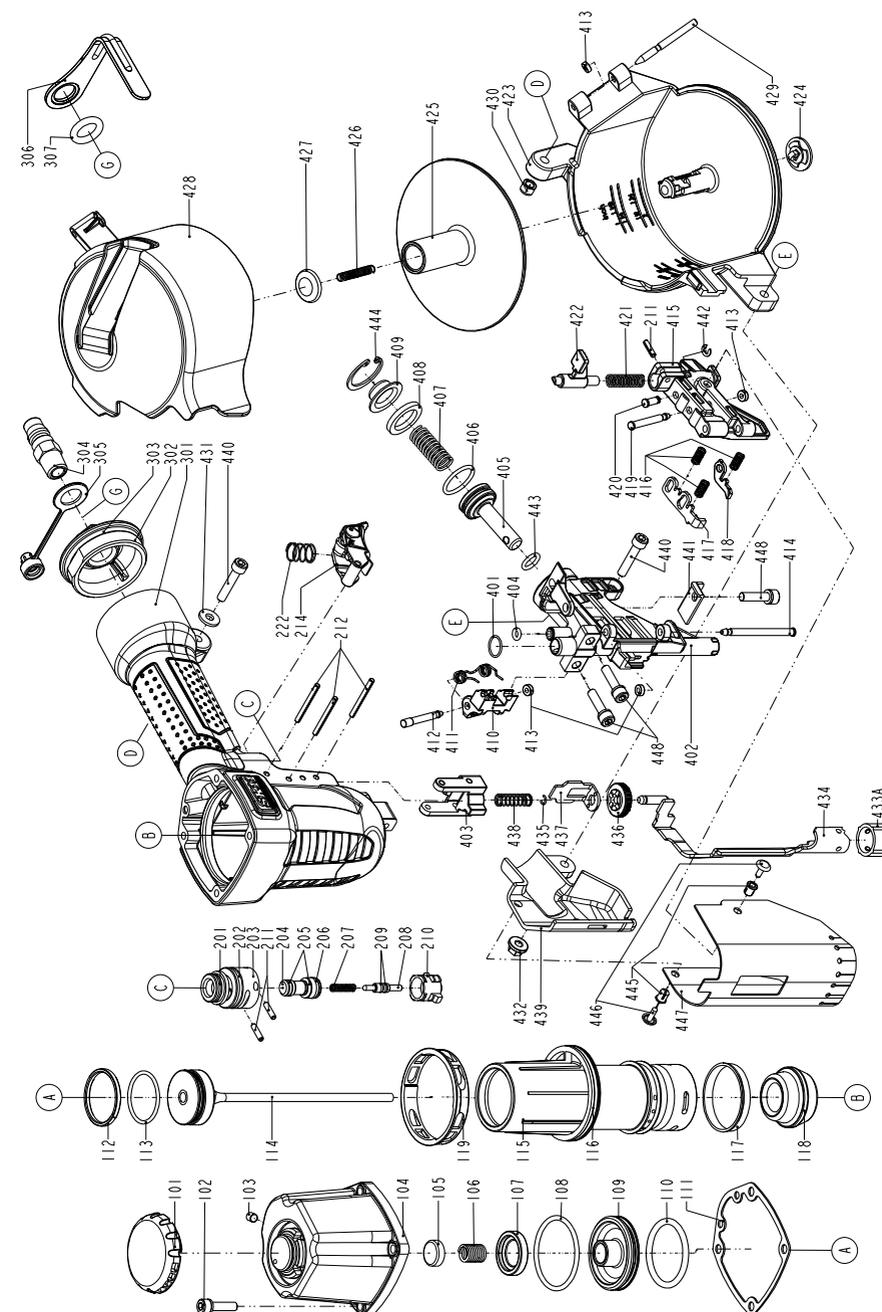
13. 配管について

a) エアコンプレッサー：圧縮空気の供給元
b) ドライヤー：圧縮空気中の水分を効果的に除去します。
c) 3点セット：
・フィルター・・・圧縮空気中のほこりやごみ、水分の除去。
エアーコンプレッサーの空気は汚れや水などを多く含んでいます。ツールや配管の劣化を早めますのでご使用をおすすめします。
・レギュレーター（減圧器）・・・空気圧の調整をします。０〜供給された空気圧まで設定できます。
・ルブリケータ（オイラー）・・・圧縮空気にエアツールオイルなどを添加します。
d) エアタンク：出来るだけ多くの圧縮空気を貯めておくことで、連続でツールが使いやすくなります。
※エアコンプレッサーの能力（吐出量）が小さいと圧縮空気が貯まる（空気圧が上がる）のに時間がかかります。
e) マイクロフィルター：空気中の微細なほこりやごみ、水分、油分を除去します。
f) エアホース：推奨は内径φ6.5㎜以上で３０ｍまで
g) ワンタッチソケット：エアコンプレッサーと本機の間には最大で2〜3個までにしてください。
h) その他機器：機器メーカーの注意書をよく読み正しく安全にご使用ください。
※これらはすべて別売です。必要に応じて準備してください。

⚠注意
フィルター・ドライヤー・レギュレーター・ルブリケーターなど空圧機器をご使用になる場合はご使用になる機器の取扱説明書や注意書をよく読みご使用ください。

14. 分解図

●部品表

番号	部品番号	部品名	サイズ
101	11371-0814701-1	デフレクター	
102	2040100-03030-0	ボルトセット（4本）	M5*0.8-20＋ϕ5
103	2040104-03010-0	六角穴付ネジ	M5*0.8-05
104	11369-081M701-1	キャップ	
105	11369-081M701-2	シール	
106	11369-081M701-3	コンプレッションスプリング	
107	11369-081M701-4	オイルシール	
108	11369-081M701-5	Oリング	39.35*2.62
109	11369-081M701-6	ヘッドバルブピストン	
110	11369-081M701-7	Oリング	31*3.5
111	11369-081M701-8	パッキン	
112	11369-081M701-9	ピストンリング	
113	11369-081M701-10	Oリング	27.5*2(S28)
114	11369-081M701-11	ドライバーユニット	
115	11369-081M701-12	シリンダー	
116	11369-081M701-13	Oリング	51.6*2.6
117	11369-081M701-14	シリンダーリング	
118	11369-081M701-15	バンパー	
119	11369-081M701-16	シリンダープレスリング	
201	11369-081M701-17	Oリング	12.42*1.78
202	11369-081M701-18	Oリング	18.72*2.62
203	11369-081M701-19	プランジャーキャップ	
204	11369-081M701-20	バルブプランジャー	
205	11369-081M701-21	Oリング	5.8*1.9(P6)
206	11369-081M701-22	Oリング	8.8*1.9(P9)
207	11369-081M701-23	スプリング	
208	11369-081M701-24	プランジャー	
209	11369-081M701-25	Oリング	2.5*1.5(S3)
210	11369-081M701-26	トリガーバルブヘッド	
211	11369-081M701-27	スプリングピン	ϕ3-12
212	11369-081M701-28	スプリングピン	ϕ3-30
214	11369-081M701-29	トリガーユニット	
222	11369-081M701-30	スプリング	
301	11369-081M701-31	ガンボディユニット	
302	11369-081M701-32	エンドキャップ	
303	11369-081M701-33	Oリング	43*2.8
304	11369-081M701-34	エアープラグ	
305	11369-081M701-35	ダスティカバー	
306	11369-081M701-36	スプリングリテイナー	
307	11369-081M701-37	Oリング	13*4
401	11369-081M701-38	Oリング	10*1
402	11369-081M701-39	ノーズピース	
403	11369-081M701-40	セフティガイド	
404	11369-081M701-41	Oリング	3.8*1.9(P4)
405	11369-081M701-42	フィードピストン	
406	11369-081M701-43	Oリング	19*2
407	11369-081M701-44	コンプレッションスプリング	
408	11369-081M701-45	フィードバンパー	
409	11369-081M701-46	フィードポジションキャップ	
410	11369-081M701-47	フィードフィンガー	
411	11369-081M701-48	フィードフィンガースプリング	
412	11369-081M701-49	ピンフィードポジション	
413	11369-081M701-50	PUリテイナー	
414	11369-081M701-51	ドアシフトピン	
415	11369-081M701-52	ドア	
416	11369-081M701-53	ストッパーフィンガースプリング	
417	11369-081M701-54	ファーストストッパーフィンガー	
418	11369-081M701-55	セカンドストッパーフィンガー	
419	11369-081M701-56	ピン-ネイルストップ	
420	11369-081M701-57	ピン	
421	11369-081M701-58	ラッチスプリング	
422	11369-081M701-59	ドアラッチ	
423	11369-081M701-60	マガジンケース	
424	11369-081M701-61	スプリングベース	
425	11369-081M701-62	スペーサー	
426	11369-081M701-63	プルスプリング	
427	11369-081M701-64	スプリングベースA	
428	11369-081M701-65	マガジンカバー	
429	11369-081M701-66	マガジンシフトピン	
430	11369-081M701-67	ロックナット	M5*0.8
431	11369-081M701-68	フラットワッシャー	D13*d5.3*t1.5
432	11369-081M701-69	ボルトキャップ	M5*0.8
433	11369-081M701-70	プロテクトケース	
434	11369-081M701-71	セフティA	
435	11369-081M701-72	リング	
436	11369-081M701-73	調節ダイヤル	
437	11369-081M701-74	セフティB	
438	11369-081M701-75	セフティスプリング	
439	11369-081M701-76	セフティカバー	
440	11369-081M701-77	六角穴付ボルト	M5*0.8-25
441	11369-081M701-78	ストッパー	
442	11369-081M701-79	Eリング	
443	11369-081M701-80	Oリング	9*2
444	11369-081M701-81	Cーリング	
445	11369-081M701-82	固定リング	
446	11369-081M701-83	固定ピン	
447	11369-081M701-84	マガジンプロテクター	
448	11369-081M701-85	ボルトセット（4本）	M5*0.8-20+ϕ5

●分解図

保 証 書

保証期間内に取扱説明書の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、お買い上げの販売店に本書をご提示の上、修理をご依頼下さい。

<table>
<tr><td rowspan="2">形名</td><td colspan="2" rowspan="2">SK11 釘打機 N50
SA-N50-Z1</td><td>お買い上げ日</td><td>保証期間</td></tr>
<tr><td>平成　　年　月　日</td><td>1 年</td></tr>
<tr><td rowspan="3">お客様</td><td>住所</td><td colspan="3">〒</td></tr>
<tr><td>ご芳名</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>電話</td><td colspan="3">（　　　）</td></tr>
<tr><td>販売店</td><td>住所
店名</td><td colspan="3">☎　（　　　）</td></tr>
</table>

上記欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認下さい。

1. 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
  (イ) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
  (ロ) お買い上げ後の落下、輸送等による故障または損傷。
  (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
  (ニ) 本書の提示がない場合。
  (ホ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
2. 本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には、当社までご相談下さい。
3. 本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保存して下さい。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。

発売元：藤原産業株式会社
兵庫県三木市福井2115-1
TEL. 0794-86-8200 (代)